



# わだち 『轍』

～共に刻む、成長の軌跡～

令和8年9月15日 No.12

文責 校長 貞松 弘人

期末テストを終えて ～ここからが本当の「自分の力」を伸ばす時～

## 1. テストの振り返りは「最高の教材」

間違えた問題や分からなかった部分は、自分の弱点を教えてくれる宝物です。点数や順位に一喜一憂するだけでなく、「**どこができて、どこが分からなかったか**」を確認することが一番大切です。できなかった問題こそ、**これからの自分の伸びしろ**です。



## 2. 「知っている」を「できる」に変える

授業で聞いたことや覚えた知識を、実際のテストで使いこなせましたか？これからは、**知識を定着させ、自分で考え、表現する力**を高めていきましょう。

## 3. 毎日の積み重ねが未来の自分をつくる

勉強の成果は一朝一夕には出ません。テスト前だけの勉強ではなく、日々の授業の復習や家庭学習の習慣を大切にしてください。「**毎日の小さな一歩**」が、大きな自信へとつながります。

これからの学校生活も、目標に向かって一步一步進んでいきましょう。応援しています。

## 避難訓練(地震)を実施しました！

9月9日(水)、授業中に地震が発生したという想定で避難訓練を実施しました。

7月の終わりに熊本で地震があり、8月には千葉において豪雨があり、9月にも関東や北陸・中部地方で線状降水帯が発生し非常に多くの被害が出ました。いつ、どこで災害が起きても不思議ではない状況になっています。

生徒たちは真剣な態度で「**お・か・し・も**」(おさない、かけない、しゃべらない、もどらない)を守り、真剣に行動できたと思います。また、常に危機意識を持ち「自分の命や周りの命を守ること」を伝えました。

この機会に、ぜひご家庭でも『**地震が起きたらどこに避難するのか**』『**家族との連絡方法はとするのか**』について、話題にしてほしいと思います。



著作権の都合上、新聞記事の二次利用になりますので、掲載を控えています。

9月4日(金)に佐賀新聞社の方に来校していただき、2年生で「職場体験」の新聞を作成するために『新聞の書き方講座』を実施しました。その様子が、佐賀新聞に掲載されましたので紹介します。

## ～校長室の窓から～

期末テストも終わり、少しずつ朝夕の気温も下がり始め、秋の気配を感じるようになりました。  
毎朝、交通指導をしている時に、**笑顔で挨拶してくれる生徒が増えたように思います**。ご家庭ではどうでしょうか？挨拶は人と人とを繋ぐコミュニケーションであると私は考えています。

そこで、右のように分類してみました。

さて、家族への毎日の挨拶はどちらに当てはまりますか？

毎日の家庭での挨拶の積み重ねが、生徒のこれからのコミュニケーション力を育てていきます。いつもお互いに笑顔でいられるように、明日からまた**笑顔**で生徒たちに**元気な挨拶**を心掛けていこうと思います。

| Goodな挨拶    | Badな挨拶     |
|------------|------------|
| 自分から挨拶をする  | 相手からの挨拶を待つ |
| 目を見て挨拶をする  | 目をそらして済ませる |
| 笑顔と明るい声    | 無表情        |
| 周りを元気にする挨拶 | 周りを不安にさせる  |
| 誰にでも挨拶     | 相手を選んで挨拶   |
| 一言添えて次に繋げる | おはよう一言で終わり |